

甘トウガラシ

蒔く時期 : 2月~4月

収穫時期 : 6月~10月

特徴

果長15cm程度で収穫する甘トウガラシです。シシトウ類とピーマンとの交雑に由来すると考えられており、果肉厚く柔らかで甘みがあり、シシトウと同様に利用できます。黒アザ果(低温条件下で、直射日光に当たった幼果に発生が見られます。食用には問題ありません。)が発生しやすい品種です。

育て方

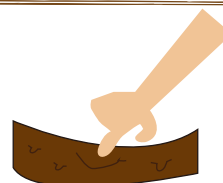
【用土】

- トウガラシ類は浅根性で、特に土壌やの過湿や過乾燥の影響を受けやすいので、水はけの良い圃場を選びましょう。極端な悪条件でなければ栽培の失敗は少ないですが、高温性作物なので、温度(特に地温)により生育は大きな影響を受けます。



【植え付け】 発芽適温：20～30℃ 栽培適期：春まき（育苗）

- 栽植密度は畝幅90cm程度、株間50～60cmの1条植を目安とします。定植は遅霜の心配がなくなる頃に行いましょう。根が繊細のため、根鉢が崩れないような状態になってから植え付けます。



【水やり】

- 盛夏期は、適宜かん水を行って土壌水分を保ち、草勢の維持に努めましょう。

【追肥】

- 収穫を開始してから2週間に1回程度、ボカシ肥を一株当たり手のひらで軽く一握り位、敷き草の上から施し、かん水や敷き草を追加して効かせるようにします。追肥のやり過ぎには注意しましょう。



【収穫】

- 果実は15cm程度まで伸びますが、収穫始めは10cm以内で収穫していた方が、草勢が増すのが早くなります。果実を長期間つけすぎると、草勢が弱まり、着果が続かなくなるので、適期収穫を心がけましょう。完熟果どりもできますが、樹への負担が大きく、完熟までに50日程度かかるので、十分に草勢が充実してから完熟果をつけさせるようにしましょう。

【管理・栽培のポイント】

- 定植後最初に付いた花(一番果)は、早めに摘花し、樹を大きくさせることを優先させます。
- 収穫は3番花以降にすると樹が長持ちします。

× 病害虫
アブラムシ
ウイルス病
etc...

【その他】

- 仕立て方は、放任が良いが、枝が折れやすいので、支柱を立てて、長い枝を紐で誘引する。